

ヤスハラケミカルは、人や環境にやさしい天然素材の原材料を活かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

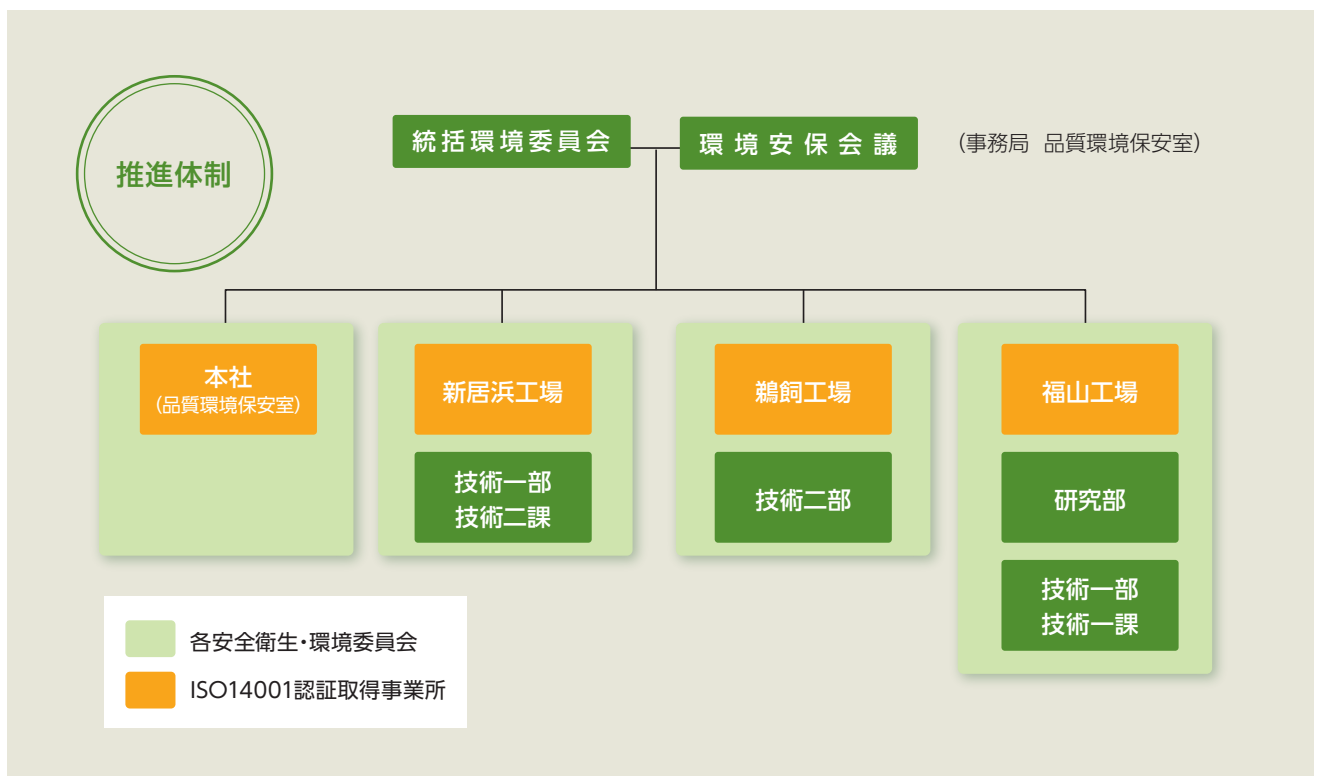
### 《 環境・安全に関する基本方針 》

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二



## 目標達成状況

### 2023年度の具体的目標と実績

ヤスハラケミカルでは、各工場での環境目標を数値設定・励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

環境活動の目標と実績				
活動テーマ	2023年度目標	2023年度実績	評価	2024年度目標
環境マネジメントシステム(EMS)の推進	EMS認証取得3工場の認証維持	EMS認証取得3工場の認証更新	○	EMS認証取得3工場の認証維持
省エネルギーの推進	エネルギー原単位前年度比1%削減	エネルギー原単位前年度比0.8%削減	×	エネルギー原単位前年度比1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位前年度比1%削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位前年度比3.0%減少	○	CO <sub>2</sub> 排出原単位前年度比1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位削減	産業廃棄物排出原単位2.4%増加	×	産業廃棄物排出原単位削減
	産業廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量0.8%削減	○	産業廃棄物排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR排出量削減	PRTR排出量7.1%増加	×	PRTR排出量削減
	化学物質リスクアセスメントの継続実施	化学物質リスクアセスメントの継続実施	○	化学物質リスクアセスメントの継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業災害0件 事故0件	○	休業災害・事故ゼロ
環境・社会報告書発行	年1回発行	6月発行	○	年1回発行

○目標を達成 ×目標を達成できなかった

### 優良危険物取扱者表彰

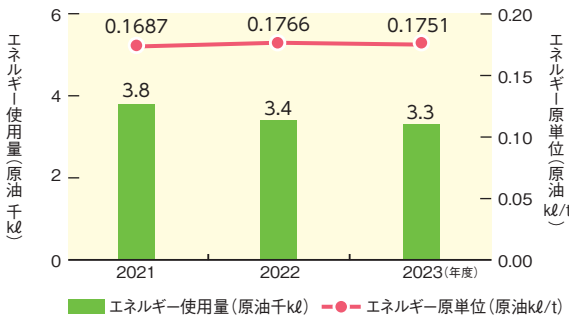
2023年5月23日(火)に開催された福山地区危険物安全協会の定例総会において、鶴飼工場の江村彰彦さんが、優良危険物取扱者として表彰を受けました。江村さんは、永年にわたり危険物による事故防止と安全管理に精力的に取り組んだ成果が認められたものです。



## 事業活動における環境配慮への取り組み

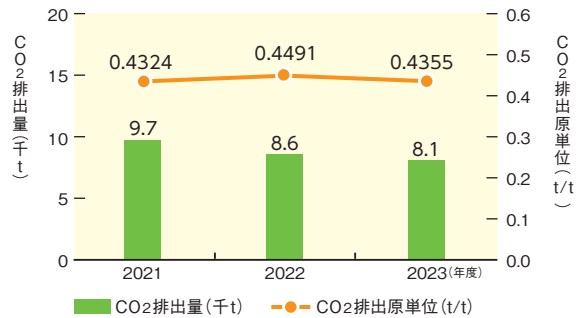
### エネルギー原単位

2023年度のエネルギー原単位は、設備投資・生産稼働効率の改善により、前年度比0.8%減少しました。



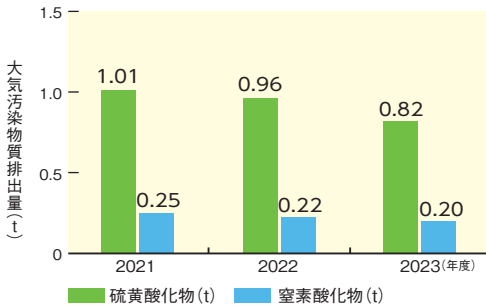
### CO<sub>2</sub>排出原単位

2023年度のCO<sub>2</sub>排出原単位は、排出量を抑制する設備導入などにより前年度比3.0%減少しました。引き続き削減に努めます。



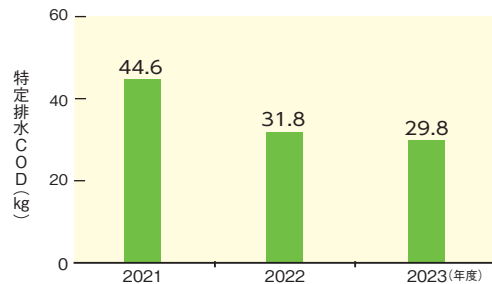
### 大気汚染物質の排出量

2023年度の硫黄酸化物排出量は前年度比14.5%減少、窒素酸化物排出量は前年度比6.6%減少しました。



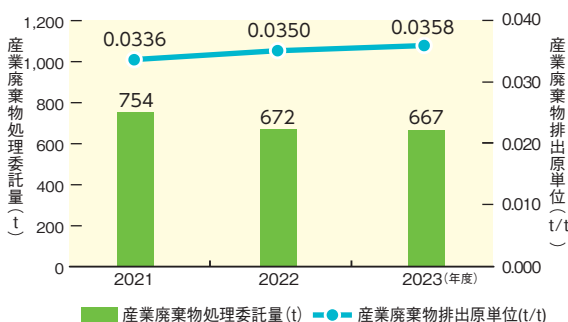
### 特定排水COD負荷量

2023年度の化学的酸素要求量(COD)負荷量は、前年度比6.3%減少しました。



### 産業廃棄物排出原単位

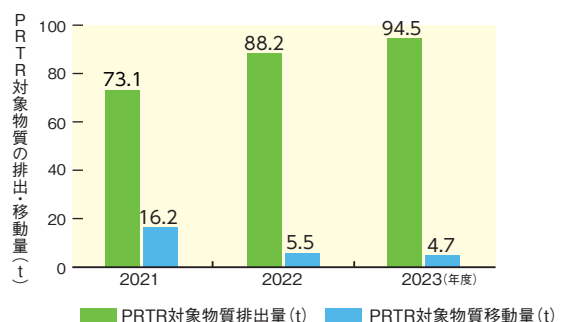
2023年度の委託量は前年度比0.8%減少したものの、生産量が3.1%減少したことにより、産業廃棄物排出原単位は前年度比2.4%増加しました。



### PRTR※対象物質の排出・移動量

2023年度から新たに対象物質の追加により、排出量は前年度比7.1%増加しました。移動量は、前年度比15.3%減少しました。

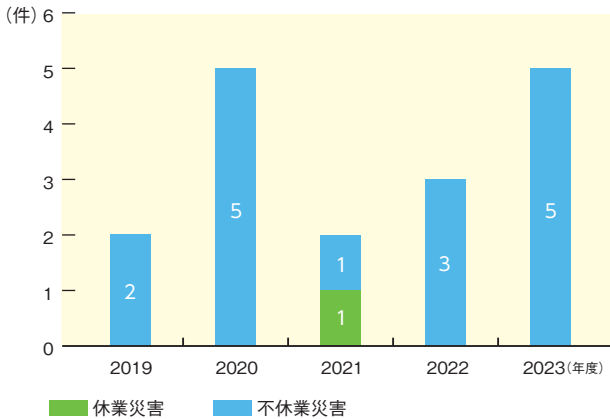
※PRTR:人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が、事業所から環境(大気、水、土壌)へ排出される量および廃棄物に含まれて事業所外へ移動する量を、事業者が自ら把握し国に届け出をし、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計・公表する制度です。



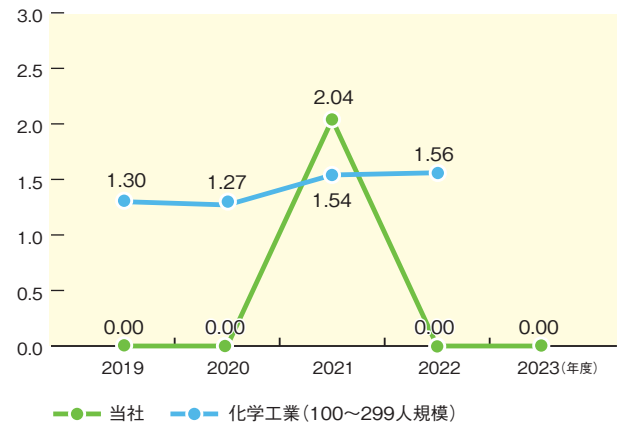
## 安全衛生への取り組み

従業員の安全衛生に関するリスクを評価し、安全を最優先に事業活動を行っています。また、メンタルヘルス不調予防のためにストレスチェックを導入するなど、安全・健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

### 労働災害発生件数の推移



### 休業災害度数率の推移



※度数率は、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生 の頻度を表す。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000,000$$

※出典：厚生労働省「労働災害動向調査」の「用語の解説」(6)項アから引用

### 安全衛生・環境に関する資格の保有者数

安全衛生・環境に関わる必要な資格の積極的な取得に努めています。法的に定められた先任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	2023年度保有者数*(名)
公害防止管理者	13
エネルギー管理士	11
衛生管理者	23
ボイラー技士・整備士	39
危険物取扱者	152
消防設備士	22
高圧ガス製造保安責任者	48

※2024年2月29日時点の各工場勤務者

#### COLUMN

#### 消防合同訓練

災害発生時の対応力強化のため、福山南消防署と合同で、総合防災訓練を実施しました。休日を想定して交替班7名の出勤体制時に、研究部危険物倉庫が火元になる訓練を実施しました。

